



志

十年後の自分

みんなのひろば



岩垣 吏待
(大山中学校 3年)

私は、小学生の頃から図書館が一番好きな場所でした。そして、何より図書館の先生と話することが私の楽しみでした。小学校では、図書委員長も務めました。そんな私には、図書館の司書になりたいという夢があります。

司書に
なりたい

委員長として図書館の仕事をしてみると、楽しいことだけでなく、大変なこともありましたが、それも含めて良い仕事だと思いました。その中でもやはり、本に囲まれながら子どもたちとコミュニケーションをとれる

ことが、私には一番素敵な仕事だと思えました。
私は、司書という仕事を通して、もっと本や子どもたちのことを知りたいと思っています。そして、多くの子どもたちに「図書館は大切な場所」と思ってもらえるような仕事ができたらとも思っています。十年後の自分を思うと胸が高鳴ります。



野間 翔太
(中山中学校 3年)

僕の将来の夢は、検察官になることです。十年後は、順調にいっているれば、大学を出て、司法試験に合格し、検察官への道を突き進んでいるはず

検察官への
道を

に魅力を感じています。歴史上の人物で、他国の王を納得させたり、説得が難しい相手を巧みな話術で味方につけてしまったりする人が出てきます。ただ戦闘するだけでなく、言葉という武器を使うのです。検察官と

いう仕事も、法廷で相手を納得させたり、論破したりします。正義感と話術、そこが魅力だと感じています。
立派な検察官になるには、人として高い目標を掲げていないといけないと思います。そのために、この中学校生活3年間、生徒会や応援団、野球部などの活動をする中で、自分を高めることを目指してがんばってきました。十年後も努力を続けている自分でありたいと思います。



坂田 龍神
(名和中学校 3年)

十年後、僕は大山町に住もうと思っています。大山町は今、若い人が減ってきており、僕たちが出ていくと、本当に大山町が無くなってしまいかもかもしれません。だから十年後二十年後もこの大山町に住み続けたいと思います。

大山町を
守りたい

大山町は人情あふれ、町の人みんなが集い楽しめる行事がたくさんあります。また、雄大な大山と、自然豊かな海に囲まれ、都会とは違い、静かで落ち着いた安心して暮らせる、住みよい町です。これからは僕たちのような若い人

たちが、大山町を守っていくべきだと思います。そのために、勉強を頑張る知識をつけ、大山町の良さを見つけ、地域のために働ける力をつけたいです。今まで先輩たちが守り、つくり上げてきてくださった大山町を、他の地域や日本全国にアピールしていくような立場になつていきたいと思います。

大山寺の護摩法要

あとがき

今年には台風の直撃やその影響による災害が各地でおこりました。記憶に新しい茨城県、鬼怒川堤防の決壊は甚大な被害を与えました。

本町も台風が直撃したり近くを通り過ぎたりしましたが、幸いにも大きな被害はありませんでした。

北には日本海に浮かぶ隠岐の島、南には秀峰大山、眺望も美しいこの町は災害も少なく住むには最高です。

年配の人が言われていることを本真のように実感しています。

「大山さんが守ってくれる」

米本

【発行責任者】

議長 野口 俊明

【広報常任委員会】

委員長 米本 隆記

副委員長 圓岡 伸夫

委員 近藤 大介

委員 大村 正彦

委員 大原 広巳

委員 加藤 紀之